



高専を活用した各種事業のお知らせ

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

新高専発足とともに、新たな地域連携が構想されました。①東京都の重点施策の一つ：高専を活用したフリーター対策（約1600万円）、②経済産業省：地域中小企業の若手技術者育成対策事業（1500万円）が昨年度行われました。それぞれ平日の夜間、土日曜に開催します。今年度も6月からほぼ同様の規模で行われますのでHP等をご覧ください。

◆高専を活用したフリーター対策事業（参加費5000円）

東京の産業を担う人材育成として高専を活用したフリーター対策の事業が開始されました。高専が地域に根ざした工学系の学校として、学校の持っている施設、人材等を有効に活用し、積極的に社会貢献する仕組みを構築して

います。その一環として現在社会問題化しつつあるフリーターに視点を充て高専が事業の主体となりものづくり講座を実施します。1講座は3ヶ月単位で合計50時間程度です。今年度は旋盤・フライス盤を使った製品作り、5インチゲージの鉄道模型の製作、木工製作、アーク溶接、パソコン入門、オーディオアンプの製作、ウェブサーバーの構築、子供用遊具の開発を計画しています。

◆地域中小企業の若手技術者育成対策事業（参加費無料）

経済産業省・地域中小企業の若手技術者育成対策事業に応募し、合計30高専の一つに採択されました。1講座3ヶ月で約40時間（実習が20時間程度）開講され、荒川校舎では今まで技術相談が多かったテーマを講座としました。すなわち材料加工と材料特性、振動測定と制御技術、材料強度試験、流れの基礎現象解析（風洞を使った流れの実験）です。また2足歩行ロボットの製作、ネットワークの構築も行います。中小企業の若手技術者に各種技術をマスターしていただき、自分で問題を解決できるレベルになってもらおうというものです。



まだまだ活躍！古いメガネ活用法

今回は、私の本業・メガネのお話です。普段、メガネを必要とされる皆さまの中には、使っていないメガネをいくつもお持ちの方が少なくないようです。その理由は、「度が合わないようになった」「レンズが傷だらけになった」「フレームがボロボロ」

：など色々あるようです。でも、引き出しに入れておけばなしでは「もったいない」ですよ！少し手を加えて、予備のメガネにしたり、仕事や家事専用のメガネにすると、まだまだ活躍してくれます。では、お勧め例をご紹介します。

①点検・調整してもらおう：「壊れた」と思っただけであきらめていたメガネ、まずは念のため店にお持ち下さい。単にネジが取れた・折れた、部品が磨耗した、あるいはレンズ止めのナイロン線が切れた程度なら、その場ですぐに修復完了です。また、ぶつ

けて大きく曲がったフレームも、専用工具を使ってある程度復元できる場合があります。これで、予備のメガネができあがり！

②レンズだけ新しく交換する：フレームが傷んでいなければ、視力を測った上で、新しいレンズに入れ替えてみましょう。その際、「遠くの景色が良く見える」レンズではなく、「パソコンや読書用」「家事・キッチン用」「運転・ゴルフ用サンングラス」など、目的にあった専用レンズをお選び頂くのも良い方法です。

③工場での修理・再生してもらおう：フレームの塗装やメッキが剥げたり、溶接部分が外れたりした場合でも、製造元や提携修理工場に依頼することで、ピツクリするぐらい美しく蘇ります。愛着のあるメガネを永くお使いになりたい皆さまに好評です。

以上です。皆さまのご相談をお待ちいたしております！

【消費生活アドバイザー

佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13 コツ通り  
TEL 03 (3806) 4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜：AM 10時～PM 7時30分  
日曜・祝日：AM 11時～PM 6時30分

